



# ほすびっ人



NO.305

## 新年のご挨拶 ～勇気と覚悟をもって～



社会医療法人耕和会  
社会福祉法人耕和会  
理事長

佐々木 万里代  
(迫田)

コロナ禍が過去の歴史に刻まれようとする今、医療・介護・福祉業界を取り囲む環境は目まぐるしく変化しています。

2025年へ向けた「病床機能の再編・調整」が中心だった地域医療構想は2040年を想定し「地域全体で支え合う仕組み」すなわち、“地域完結型”の医療体制の構築へと、大きく舵を切り始めました。

耕和会には、治す医療のみならず、治し支える医療、高齢者救急・地域急性期医療の提供、地域完結型の医療・介護の提供、連携体制の構築の強化が求められています。これまで、地域に欠損する部分の穴埋めをするために先代が築き上げた耕和会の資源、事業所、耕和会が担ってきた地域に根差した医療・介護・福祉の連携そのものです。さらなる充実を目指し、多職種・多機関連携、外来・在宅医療の充実、ICTの活用、地域全体を見据えた新たな視点が不可欠です。医療・介護の質の向上、人材確保、医療DX、職場環境改善他、そのために取り組まねばならぬ課題もあります。

今後の堅実な法人経営、運営の方向性を念頭に、責任と権限を明確化し、今年は新たな取り組みにも着手します。また、法人内事業所を越えた交流・異動により、得意とする専門分野を活かし、耕和会組織の活性化に繋げていきたいと考えています。

昨秋、迫田病院に新設した「総合支援室」は、前看護部長と元総看護師長がタッグを組み、開設早々に病院内にとどまらず老健施設における看護業務指導、介入をお願いしました。またこの1月には、耕和会城ヶ崎地区の赤江在宅介護支援センターから宮崎市赤江地区包括支援センターへ職員2名の異動をお願いしました。地域医療・福祉における耕和会の果たすべき責務をご理解いただき、城ヶ崎・赤江地域の窓口として、新たな役割を担って頂けるものと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

耕和会の理念は、“すべてを患者さまのために、すべてを利用者のみなさまのために”です。良心に従い、それぞれの職責を果たすことで得るものが、いずれ自分自身の喜びに繋がると信じています。

私のモットーは、“同僚を紹介したいと思う、家族が利用したいと思う職場づくり”です。その実現を目指して、それぞれが自分ごととして率先してアクションを起こしていただくことが必要です。

今年は、午年、向かい風にも凛々しく立ち向かい力強く駆けぬける、そんな飛躍の一年となりますように、勇気と覚悟をもって粘り強く進んで参ります。きっと馬駆（うまく）行く！

本年もなにとぞよろしくお願い申し上げます。

## ▶ ご案内

耕和会創設者 故 迫田耕一郎先生の個人墓が、宮崎霊園内に建立されました。  
降り注ぐ陽の光や肌に感じるそよ風が心地よく、穏やかな時が流れているようでした。



### 迫田病院

介護老人保健施設  
サンヒルきよたけ



城ヶ崎  
訪問看護ステーション なのはな

介護老人保健施設  
あおしまのいえ



## 耕和会 グループ



宮崎赤江  
在宅介護支援センター

グループホーム  
太陽の丘



宮崎市赤江地区  
地域包括支援センター

特別養護老人ホーム  
城ヶ崎 小戸の家



迫田病院  
ほほえみ保育園



KOWAKAI\_OFFICIAL



～広報誌「ほすぴっ人」命名の由来～

ホスピタル(病院)の独語'ホスピット'と'人'を組み合わせた造語  
耕和会が一丸となり手を携えて歩む姿を表しています